

K
S
K
P

(平成17年6月) No.49

編集人

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会

西浦三郎

〒650-0016 神戸市中央区橘通4丁目1-28
辻ビル2FTEL 078-360-2618/FAX 078-360-2615
Eメール dfbbd601@kcc.zaq.ne.jp

障害者自立支援法案の国会審議始まる 所得保障なき応益負担に反対の声

障害者福祉サービスの新しい枠組みを定めた「障害者自立支援法案」が今年2月10日に、開会中の国会に上程され本格的な国会審議が始まりました。

身体、知的、精神と別個だったサービスを一元化して利用しやすくし、就労支援もうたつたことを評価する声がある一方、原則1割の自己負担を求めるところ、「政策よりも国の財政を優先した」との批判も出ており、この法律によって、障害者が地域で安心して暮らせるかがどうかに大きな影響があるだけに、障害者などの声に配慮した国会審議が望まれます。

そんな状況の中、当事者や現場の声を国会審議に反映させようと、さまざまな運動が展開されていますが、5月12日には東京、日比谷公会堂・日比谷野外音楽堂で、日本障害者協議会主催の「障害者自立支援法を考えるみんなのフォーラム～どうなる、どうすべき、わたしたちの明日を～」の集いが催され、6千6百人の参加者が全国各地から参集しました。

日比谷公会堂では、当事者の発言や、障害者団体によるシンポジウム、さらには政党代表によるシンポジウムなどが行われ、最後に、採択された「アピール文」は、後刻、国會議員に参加者の切実な思いや声とともに届けられました。

(アピール文→2ページ)



精神保健福祉に関する電話相談

兵家連では、精神障害者に関する相談ごとについての
電話相談を受付けています。

毎週、月～金曜日、10時より15時 ☎ 078-360-3610



アピール

「障害者自立支援法」を考える みんなのフォーラム

私たちは、今日ここ日比谷公会堂・野外音楽堂に、沢山の市民のみなさんと共に、全国の障害当事者とその家族、関係者など6千人が集いました。

戦後、僅かずつ積み重ねてきた我が国の障害者福祉ですが、今般の障害者自立支援法案と一連の関連する動きは、これを大きく転換するものです。気になるこの法案ですが、私たちの気持ちとはまだまだ距離感があります。なぜ、こんなに早いテンポで進めなければならなかったのか。鳴り物入りで始まった支援費制度の総括はどうなっているのか。どの程度の基礎データの下で法案づくりが進められたのかなど、釈然としない点が沢山あります。

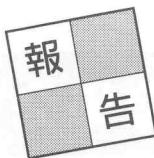
今日のフォーラムでも、改めて私たちは考え合いました。2500万人に及ぶ障害のある人と家族の置かれている本当の姿はどうなっているのか、私たち一人ひとりのニーズはどうすれば実現できるのか、そもそも我が国の障害者施策の水準は妥当なのだろうか、ということを。<中略>

「居ても立つてもいられない」、そんな気持ちで集まった私たちです。一人ひとりの願いや思いを次の5項目に凝縮しました。市民のみなさん、国会や政府関係者のみなさん、マスコミ関係者のみなさん、耳を傾けて頂きますよう、心から訴えます。

1. 障害保健福祉関連の予算を大幅に増額してください。これまでの「見積もり」は、誤っていたように思います。財政難にあっても、必要で充分な予算額を確保してください。
2. 応益負担の導入は余りにも乱暴です。本人が負担できない場合に家族に負担が及びますが、これは障害者にとって心苦しく大きな屈辱です。また、働きに行った場で費用負担が生じるのは納得できません。
3. 現在の法案では、難病や発達障害など、いわゆる「谷間の障害」と言われている人々は対象から外されています。分け隔てのない法律としていかなければなりません。
4. 働く場をもっと増やしてください。そのためには、雇用と福祉の一体的な体制が図られなければなりません。雇用や仕事の発注面で、企業も応援してください。
5. 自分の人生や生活は自分で決めたいのです。個々のサービスの決定にあたっては、障害当事者の自己決定を尊重してください。

2005年5月12日

「障害者自立支援法」を考えるみんなのフォーラム 参加者一同



全家連評議員会・ 全国代表者会議

5月31日、全家連評議員会が東京厚生年金会館において開催されました。

平成16年度事業活動報告と収支決算報告ならびに監査報告が行われ、質疑のあと承認されました。続いて17年度事業活動計画（案）、収支予算（案）が提出され、原案どおり承認されました。

役員改選により下記の方々が新役員（任期2年）として選出され、承認されました。
(ブロック代表10名、理事長推薦6名、学識経験者3名の枠により選出)

理 事 長	小松 正泰（神奈川県）	理 事	小川 秀子（神奈川県）
専務理事	江上 義盛（福岡県）	//	杓子 明（福井県）
常務理事	丸山 宏充（長野県）	//	仲田 昭七（奈良県）
//	三橋 良子（神奈川県）	//	鶴川 克己（岡山県）
//	村田 みつ（静岡県）	//	真鍋 年郎（愛媛県）
//	寺尾 直宏（千葉県）	//	白石 広巳（医師）
//	藤原 慶吾（秋田県）	//	守屋 裕文（医師）
理 事	古池 源造（茨城県）	//	館 曜夫（大学教授）
//	佐複 忠治（埼玉県）	監 事	中山 英雄（千葉県）
//	野村 忠良（東京都）	//	山田 紀弘（専門職）
//	三島 端子（東京都）		

6月1日、午前10時から衆院議員会館第一会議室において、厚生労働省から北川博一企画官を迎え、「障害者自立支援法案」について勉強会が開かれ、法案説明と質疑応答が行われました。

午後2時からは、「全国代表者会議」が開催されました。続いて2時40分からは、「精神障害者社会復帰促進議員懇話会」(精社懇) 所属の国会議員の先生方をお招きした会合が行われ、全家連からの要望書を手渡し、要望実現を強くお願い致しました。

また、精社懇会長の八代英太議員からは、激励のご挨拶を頂くとともに、全家連を支援する意味で、積立金の中から「全家連運営費助成金」として400万円の寄付金を頂きました。

会合終了後、各県ごとに懇話会議員の議員事務所を訪ね、改めて要望書を持参し、陳情を行いました。

障害者自立支援法案に対する緊急集会

4月24日、神戸文化ホールで開催

国会で審議されている「障害者自立支援法案」について、前回の緊急集会（1月19日、7百人参加）に続く第2回目の緊急集会が4月24日神戸で開催され、2千人収容のホールを埋め尽くす参加者で大集会となりました。

「障害者福祉の大改革、これで障害者は地域で生活ができるのか！」の呼びかけに、兵庫県下から当事者、家族、施設関係者、さらに地元選出の国会議員、県会議員、市会議員、地元自治体の福祉関係者らも多数参加され、法案の中身と一緒に検証する絶好の機会となりました。

大会実行委員長（西浦三郎兵家連会長）の開会挨拶、来賓代表（斎藤富雄副知事）の挨拶のあと、当事者・家族の下記4名の代表から、法案に対する不安や疑問の意見発表が行われました。

1. 高瀬 建三氏（いこいの場ひょうご）
2. 松浦シズ子氏（宝塚市手をつなぐ育成会）
3. 須磨喜一郎氏（兵庫県聴覚障害者協会）
4. 松田 明大氏（小規模作業所つくしんぼ）

そのあとの部では、これらの不安や疑問に応える形で、下記3名の超一流シンポジストによるシンポジウム討論が繰り広げられました。

1. 伊原和人氏（厚生労働省障害保健福祉部企画官）
2. 斎藤公生氏（全国社会就労センター協議会会長）
3. 藤井克徳氏（日本障害者フォーラム幹事会議長）

コーディネーター

澤村誠志氏（兵庫県立総合リハビリテーションセンター顧問）

シンポジウムでは、澤村氏の巧リードのもとに、法案に理解を求める伊原氏の発言に対し、斎藤・藤井両氏が障害者の立場に立って、法案の中身についての問題点の指摘や疑問についての核心を突く反論の応酬により、法案の中身が参加者の前に浮き彫りになると同時に、会場からの質問も加わって、熱心な討議が時間いっぱい繰り広げられ、意義ある緊急集会となりました。

平成17年3月 総会開催 事業活動・収支予算案承認、新役員選出

平成17年3月30日、神戸市総合福祉センターにおいて兵家連の3月総会が開催され、平成17年度の事業活動計画案ならびに収支予算案が全会一致で承認されると同時に、新役員（平成17～18年度）が下記の通り選出されました。

平成17年度収支予算額（単位千円）

収 入	支 出		
会 費 収 入	4,600	普 及 啓 発 費	1,900
補 助 金 収 入	1,710	相 談 事 業 費	1,000
負 担 金 収 入	1,100	調 査 事 業 費	210
寄 付 金 収 入	1,600	作 業 所 支 援 費	1,030
雑 収 入	1,010	関 係 団 体 経 費	1,020
前 期 繰 越 金	2,620	管 理 費	7,180
		予 備 費	300
合 計	12,640	合 計	12,640

新 役 員

圏 域 名	氏名(敬称略)	役 職	所 属 団 体
神 戸 (東灘区)	西浦 三郎	会 長	木の芽家族会・顧問
" (東灘区)	涌波 和信	理 事	木の芽家族会・会長
" (垂水区)	小林 弘和	"	すいせい後援会・会長
" (兵庫区)	伊津きよ子	"	中道テクノ家族会・会長
阪神南 (芦屋)	豊田徳治郎	副 会 長	芦屋家族会・会長
" (西宮)	大倉 正也	理 事	西宮家族会・会長
" (尼崎)	平坂 春雄	"	尼崎西家族会・会長
阪神北 (川西)	西村謙之助	"	むぎのめ家族会・会長
" (宝塚)	喜田 保子	"	(NPO) コスモス・理事長
" (伊丹)	川口 怜子	"	(NPO) I C C C サポートセンター・会長
東播磨 (加古川)	吉田 恵子	"	心のワークセンター・副会長
" (明石)	大前 昭子	"	ともしび会フアミリーサークル・会長
北播磨 (西脇)	清瀬 英也	監 事	白ゆり会家族会・会長
中播磨 (姫路)	辻 征子	常務理事	高岡病院家族会・会長
" (飾磨郡)	本條 義和	副 会 長	しらさぎ家族会・会長
西播磨 (相生)	三木 豊	理 事	赤相みのり家族会・会長
" (揖保郡)	高濱 俊行	"	揖水会・会長
但 馬 (和田山)	藤本 光博	監 事	なんたんひまわり家族会・会長
丹 波 (篠山)	酒井 文子	理 事	(NPO) みちくさ・副理事長

兵庫県の精神保健福祉業務

平成17年度の主な新規事業

■精神障害者相談員養成研修

同じ悩みを持つ精神障害者本人や家族等、身近な者が相談に応じる体制を整備することにより、精神障害者に対する適正な医療の確保や福祉の増進を図るために、精神障害者相談員を設置することとし、平成17年度は養成研修を実施する。

- ①家族相談員養成研修会
- ②精神障害者相談員養成研修会

■障害者小規模作業所のあり方の検討

小規模作業所の実態を踏まえつつ、今後的小規模作業所のあり方について検討を行うために、関係団体等で検討会を設置する。

検討内容：現状と課題、小規模作業所の今後のあり方、機能強化に向けた支援等

■重度精神障害者医療費の助成

重度精神障害者を重度障害者の医療費公費負担助成の対象とする。

対象者：精神障害者保健福祉手帳1級所持者　　対象医療：精神を除く一般医療

■精神保健診察判定会等の設置

健康福祉事務所が、「一般人の申請や警察官通報がない場合に、精神保健診察を行うことの可否」について、審査・判定を行う精神保健診察判定会を県精神保健福祉審査会に設置する。

精神科救急相談窓口の電話番号案内

兵庫県健康生活部では、平成15年7月1日より精神科救急の受理窓口を設け、救急相談を受け付けていますので、緊急の場合にご利用ください。

救急相談窓口の電話番号 **078-265-0600**

◆利用される場合は、氏名・住所・連絡先を対応職員に告げて下さい◆

THANKS

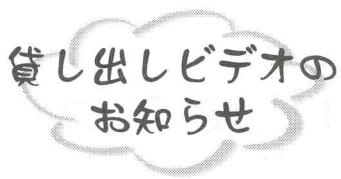
平成16年度賛助会費を下記の方より頂きました
ご協力有難うございました

個人(敬称略)

福井 玲子	延藤 充	武内満里子	堀 三明	馬場 淳子	森下 光夫
岡内 玲子	古林 郁子	長谷キヌ子	西脇 忠之	中村 慶枝	合志 至誠
室屋佐和子	東原しづえ	山下 博史	山中 弘子	有野 和枝	大井 敏弘
前田 喜江	高井 幸子	北岡 修	多田トモ子	中井 久夫	芝野 照久
長谷川直美	埜崎 太宗	金子さとみ	岡 やすえ	砂子 了一	藤村真喜男
磯部 弘美	田中 國夫	酒井 正行	鈴垣 育子	掛水すみえ	野間 洋志
加藤 雅代	沼田 定子	梶谷 忠修	伊賀美枝子	谷洋 四郎	三木 泰子
酒井 隆明	龍見 賢二	田中 英雄	山口まさの	大野由紀雄	今西 正行
酒谷 為子	青木 彦一	釜谷 研造	浜崎 利澄	大津 実乗	小林 時治
荒木 和子	松崎 輝治	藤原 武光	藤川 啓介	藤崎あつ子	石川 憲幸
三谷 道文	石本 勝	小出 収三	阿部 照子		

法人

ピアステーションこうべ	兵庫県高齢者生活共同組合	池永クリニック
診療所寺内嘉一様	職親会高嶋園芸	医療法人愛野会
つつじ会作業所	津名郡いきいき家族会	寺内神経科
中島神経科クリニック	野津病院	ゆり神経クリニック
あすなる福祉会	原田心療クリニック	ヤンセンファーマ
NPO団断酒会	ただしメンタルクリニック	関西サナトリウム
大崎メンタルクリニック	有馬高原病院	明石さくら工房
湊川病院	はなみずき作業所	明石病院
コーヒーウスYUME	職親会聖ヨハネ病院修道会	コスマス作業所
やすおか心療	サポートセンター木立	東北福祉大学
東加古川病院	播磨大塩病院	ふれあい作業所
有馬病院	吉村神経内科	大植病院
大森クリニック	播磨保健福祉学院	京谷医院
宮崎クリニック	大村病院	作業所職員連絡会
黒田庄町社会福祉協議会	夢工房大久保	仁明会病院



「家族・本人のための 統合失調症講座」

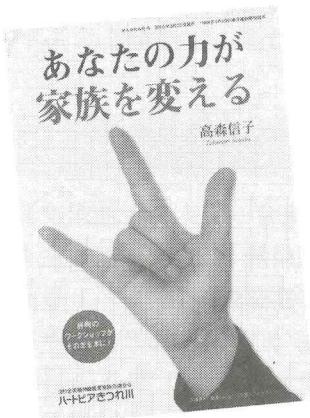
ビデオ全3巻／各20分

- 正しく理解し、回復を目指そう
～統合失調症の症状と治療～
- 薬の作用と上手な付き合い方
～統合失調症の薬物治療～
- この街で自分らしく生きる
～社会資源の活用と家族の役割～

下記の最新ビデオが入荷しました。貸し出しますので、家族会の集会などの教材用に精々ご利用ください。



図書のご案内



「あなたの力が家族を変える」

著者／高森 信子
発売／2005年3月 B6判224頁
定価／1,200円（税込）

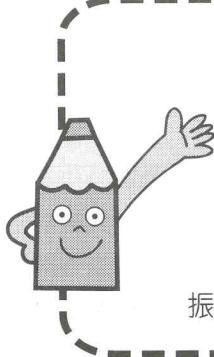
著者の高森さんは、家族の対応方法を永年にわたりて家族SSTという形で伝え続けてきた人です。患者ご本人への対応の秘訣を、この本はわかりやすくお伝えします。（注文は兵家連へ）

〈兵家連賛助会員募集〉

賛助会員となって兵家連をご支援ください。
機関紙を年3回お届けします

年会費 個人 3,000円
団体 10,000円

振込先 郵便振替 01110-4-83568 口座名 兵家連



KSKP

一九八四年八月二〇日第三種郵便
認可 毎日発行

定価／五十円

発行人／関西障害者定期刊行物協会／大阪市城東区東中浜二丁目一〇一十三
アド企画 気付